

SAK だより

Ski Association of Kanagawa

(財) 神奈川県スキー連盟

横浜市神奈川区台町16-1 ソレイユ台町407号室
電話 045 (311) 8907 FAX 045 (324) 6966
●発行者: 片 忠夫 ●編集責任: 徳本 進
http://www.sak.or.jp/

ジュニア雪とのSAK初の ふれあいツアー

2005年の夏に普及振興委員会が発足し、小学4年～6年の児童と保護者を対象とした行事を行いました。参加者の約7割が初めてのスキーやスノーボードを体験。「夕食のバイキング」「ビデオ鑑賞会」「お楽しみ会」「ジュニアテスト」など盛り沢山のイベントを楽しみました。

スノースポーツの普及に向けて、今シーズンの新行事『ジュニア雪とのふれあいツアー』が3月25日～27日に実施されました。普及振興委員会では「子どもたちにスノースポーツの楽しさをぜひ体験させてあげたい!」との強い思いを胸に、準備を進めてきました。当日の天気は晴れ。子どもたちは元気にグレンプに飛び出していきましました。まずは、体操や雪上での足じゃんけんなどゲーム感覚の準備運動から始まりました。今回は、約7割が初めてスキーやスノーボードをするという子どもたちで、用具や雪上に慣れることが第一。スキーも片方ずつ履いて歩いた後に、両方板を履いて歩いてみる、といったような基本的なことを全員でやってみて様子を見ながら講習を進めていきます。徐々に滑りに差が出てきたところで講習班毎に分けていきました。



子どもの上達については早いもので、初心者のおぼろげな午後にはリフトに乗ることができるようになりました。すばらしい! 転んでも転んでも起き上がってチャレンジする姿、疲れているのに歯をくいしばって起き上がる姿、また、すぐ上手になって先生の後についていく姿、どの子どもも一生懸命で目が輝いていました。夕食はスカイプラザでバイキング、その後ビデオ上映・お楽しみ会。さすがに子どもたちは疲れてウツラ、ウツラ。お楽しみ会のメインは「一人の名前ビンゴ」、はやく自分の名前が消えた人から自己紹介をして景品をもらおうというゲームです。ほとんどの人が自己紹介をして景品をもらって終了。おいしく、楽しいひとときでした。最終日も晴れ、コンディションがよい中でジュニアテストも行いうことができました。ジュニアテスト組、リフト組、基本練習組に分かれ、終わる頃には疲れてしまった人もいたけれど、ほとんどの人が「また滑りたい。」「また来年もきたい。」

に向けて改善し、今後もジュニアツアーが継続していただけるよう、そして子どもたちにスノースポーツが普及していくことを願っています。

(普及振興委員 山下てるみ)

青木委員長インタビュー

この行事は、5年後、10年後を見据えた普及、振興活動が狙いで、県連が音頭を取ることが大切だと思っています。現在は、各市協会でも実施しているところとそうでないところがあり、足並みがそろっていない状況です。できれば、多くの協会に取り組んでいただきたいのですが、それが難しいなら県連が隙間を埋めていくことも必要です。市協会との競争関係ではなく、お互いに協力してよりよいものとして、県内全体でジュニアスキーを盛り上げていけたらと考えています。

また、子供たちが自然とふれあう機会が減っているため、雪とのふれあいで自然を体験し、自然を大切にすることを育めたらと考えています。

冬山は日常では味わえない経験ができる場所であり、子供たちの見聞が広がるよい機会でもあります。

この行事は長い目で捉え継続させてこそ、その真価を問えるものだと考えています。

清水 忠担当理事 森本珠水検定委員長 インタビュー



○専門委員の意識改革について

検定委員会の一番重要な仕事は準指検定です。そのために専門委員がやらなければならない仕事として、受検者に対する指導員養成講習会があります。この講習会では受検者に対する指導法を「滑りを教える」ことから「指導員になる為の知識を教える」ことに意識変革してきました。

また南関ブロック研修では、専門委員に対して検定種目の理解（運動要素の理解）を深めるようにしました。きっかけは、これまでは専門委員の検定種目に対する理解が人によって異なり、「講師によって言い方、着眼点がまちまち」という受検者からの意見があったからです。受検者の混乱を招かないよう、神奈川県連として着眼点を統一化することが重要ではないかということになったわけです。

○養成講習会後の講師研修の実施

新しい試みとして、養成講習会後に毎日、講習研修を実施しました。講習会であったことを報告し、それに対する意見やアドバイスをフィードバックする場です。各講師の理解の相違や言い直しに対して振り返ることができ、次の講習会では受検者からの質問に的確に答えられるようになりました。受検者からは「専門委員の行動が変わってきた」「閉会式後も残って指導してくれる」といった意見もあり好評で、講師からは、「専門委員同志の連携も上がってきた」との意見もありました。

また、講師研修では講師の滑りを撮影したビデオを観ることで滑りのレベルも上がってきました。養成講習会を受け持った専門委員に自信が生まれ、講師にまともが出るなど効果も現れるようになりました。

○養成講習会（理論）では…

養成講習会の様子を見てみると、居眠りしている受検者が多いのです。これは講習会に魅力が乏しく、「とりあえず出席して単位をとればよい」と考える受検者もいるのでしよう。こうした反省から、理論講習会の内容を「指導の現場で役立つもの」「指導員になったときに最低限知らなければならぬもの」にすることを目的に見直しを行いました。

佐藤卓也SAJデモの講義やパネルディスカッションの実施、実例を挙げた分かりやすい講義などにより、受検者により興味を持ってもらうようになりました。

○次年度の方策について

講師に対しては、研修会や強化合宿などでも講師研修会を実施したいと思っています。受検者に対しては、養成講習会で理解した着眼点をクラブの指導者に伝えて、クラブ内の指導の外れにならないようにしてもらいたいと思っています。

研修会では今まで年齢別に班分けをしてきましたが、今後は指導員歴による班分けも検討します。ベテランの指導員と、なりたての指導員では、教え方に対する考え方も違っています。この面でも同じ考え方を持ったグループにしたほうが良いと思っています。

○準指検定を振り返って

受検者には着眼点を理解してもらうようにしています。今年の合格率は低かったのですが、最低限、ある基準をクリアしないといけません。

検定の着眼点は、今まで形にこだわらずに思います。今年は運動要素を理解した人が合格しています。神奈川県は養成講習会が他県に比べて選択肢が多いという特徴があります。受検者によっては22時間（11単位）を充たせればよいという考え方の人もいるかもしれませんが、今年に関しては養成講習会の参加回数が多い受検者の方が合格率は高くなっています。これは参加回数が多い受検者ほど運動要素の理解度が高かったことを表しています。

養成講習会は単に教えてもらう場ではなく、受検者が種目に対する理解を深める場にしたと思います。そのためにはある程度、種目について理解をしていただいたうえで受講してほしいと思っています。

今回合格した人は、今後スキーを楽しませる指導員になってほしいと思います。また残念ながら不合格になってしまった受検者は、合格するまで受検してほしいと思います。県連としては不合格の人達に対して検定結果に「コメントをつけてフィードバックしたい」と思っています。

（取材・富川貴幸、山下こゝみ 広報委員）

菊地競技本部長 インタビュー



○今シーズンを振り返って

今シーズン、競技本部に関しては決定的に悪い要素はなかったと思っています。12月のチャレンジカップがクリスマスとぶつかったり、岩岳のチャレンジカップが4連戦の翌週になっていたり日程的に若干失敗しましたが、修正可能な範囲と考えています。

今のところ競技人口は減っていませんが、役員は危機感をもって今よりもっと、出たい人が出場しやすい状況を作らなければと考えています。例えば、申し込みの締め切りが1カ月前では早すぎるので、デジエントリーを活用して、出来れば締め切りを1週間前くらいにしたり、締め切りの事務を2段階にすることなども考えていきたいと思っています。また、クラブの活性化も

必要で、チャレンジカップやクラブ対抗駅伝大会などをその手段として考えています。

○県体協の強化モデル事業について

今年度から県体育協会の強化モデル事業の補助(3年間で総額600万円)を受けられることがほぼ決まっています。これまでもジュニアの育成については種を蒔いてきて、そのルートに乗っていい選手が育ってきていますが、ちょうどいい時期に強化の補助が出るわけです。ともかく、勝てる選手を育てることが大きな目標です。

3年間はいろいろやらなければならぬことが多く大変ですが、この機会を逃したら次はないと思っています。今、小学6年から中学3年生の大型で将来性のあるいい選手が育ってきており、これをなんとかしたいと考えています。5月にセレクションを行って、15人くらいに固定して育成していきたいと思っています。これは普及が目的ではなくトップ選手を育てるシステムです。例えばオリンピックをを目指す選手などをイメージしています。

そのために、各方面の専門家を招いて、いろいろなことに取り組んでいきたいと考えています。横浜競技場の近くにある県体協スポーツ医科学委員会は、全国でもトップクラスの管理栄養士、臨床心理学の専門家や精神科医によるスポーツ専門のチームです。この

チームによるサポートで今までに無いバックアップ体制を取ります。

この栄養士や精神科医のトレーナー、

カウンセラーによるサポートで、バレーボールや陸上競技などでも成果を出しており、ポート競技では、実績の無かったチームを3年間で全国優勝させるまでになった例もあります。具体的には、選手の父母を呼んで選手の日常の食事を調査、指導し、強くなるためにいかに食べるかということなどを学んでもらいます。

ともかく、関東大会で優勝あるいはトップから3秒以内くらいにつけられる選手にしたいと思っています。三星選手の全国レベルでの活躍などは、後輩たちへのいい刺激になると思っています。また、人間的にも成長させたいと思います。宿泊もからむ競技なので、チームワーク、人との和を保てる子供が多いのはいい材料です。

この事業を成功させるには、皆さんの応援が必要です。多くの人が応援してくれるように、ホームページで情報をオープンにして、現在のレベルがどのくらいか明らかにしていきます。

トレーニングのマニュアルも非常に詳細なものを作り、スキーを強くアピールできるトップ選手を育てることを最終目標として考えています。

(取材・小田原恭一、守谷紀幸)

広報委員)

ハンディキャップ

越前谷事務局長 インタビュー

はつきり言ってしまうえば、まだまだお荷物感覚があると思います。

また、費用をどう捻出するかが、相変わらず問題としてあります。それは、教育本部の指導員は1人で十数人に対応できますが、ハンディキャップでは1人にしか対応できないという問題が根本にあるのです。場合によっては、1人に2・3人のサポートが必要なケースもあり、費用がかかるのです。

県連の雪上行事は会員の会費、協賛会費、冠料などで運営していますが、ハンディキャップの経費の捻出がいつも問題となっています。

事業としては、1月の五竜、岩岳のチャレンジカップ、3月の車山の3事業を実施しています。五竜事業は賛助会費で、岩岳・車山事業は夢国体基金と連盟からの持ち出しで運営しています。できる限り持ち出しは少なくしたいのですが、賛助会費募集の際に連盟の負担が大きいのではないかとこの声も聞いています。

3月の車山では、横浜からの往復バスということで知的障害者が15人参加しましたが、現地集合ですと保護者の負担が大きいのです。バスの中や宿の

(7ページに続く)

5位 福島 翼(横浜商大高校)
6位 落合 克允(法政第二高校)

第28回 神奈川県体育大会
日時/平成18年1月22日(日)
場所/上越国際スキー場
女子大回戦

- 1位 内田 美穂(シヨウナンキッズ)
- 2位 石塚 志乃(ビッグクラウト)
- 3位 森川 順子(ソフト・ト・ネージュ)
- 4位 田盛 友香(自衛隊女子スキー部)
- 5位 本庄 由紀(日立戸塚スキー部)
- 6位 相澤 博美(藤沢スキークラブ)

「成年女子A」
1位 服部 七穂(専修大学)
- 2位 関 美和子(関東学院大学)
- 3位 高井 美弥(清心女子高校)
- 4位 田中 未起(清心女子高校)
- 5位 宮川由紀子(REDORIB)
- 6位 少年男子

第61回 団体スキー競技会 神奈川県選考会
日時/平成18年1月23日(日)
場所/上越国際スキー場
女子大回戦

- 1位 内田 美穂(シヨウナンキッズ)
- 2位 石塚 志乃(ビッグクラウト)
- 3位 森川 順子(ソフト・ト・ネージュ)
- 4位 田盛 友香(自衛隊女子スキー部)
- 5位 本庄 由紀(日立戸塚スキー部)
- 6位 相澤 博美(藤沢スキークラブ)

「成年女子B」
1位 藤原 翔(慶應義塾高校)
- 2位 鈴木 柊(森村学園高校)
- 3位 平岡 未(関東学院六浦高校)
- 4位 外崎 敦成(法政第二高校)
- 5位 駒田 岳斗(法政第二高校)
- 6位 市山 研(個人)

第23回 神奈川県選手権大会(スピード系)
日時/平成18年1月24日(火)
場所/上越国際スキー場
男子スノーボード

- 1位 鈴木 博美(ノアール)
- 2位 鈴木芽久美(横浜スポーツマン)
- 男子スノーボード
- 1位 杉本 博美(ノアール)
- 2位 田盛 友香(自衛隊女子スキー部)
- 3位 高井 美弥(清心女子高校)
- 4位 田中 未起(清心女子高校)
- 5位 宮川由紀子(REDORIB)
- 6位 少年男子

第4回 チャレンジカップ 第2回 総合大会
日時/平成18年1月29日(金)29日(日)
場所/長野県岩岳スキー場
男子大回戦

- 1位 小島 康裕(桐蔭学園高校)
- 2位 平岡 未(関東学院大学)
- 3位 鈴木 柊(桐蔭学園高校)
- 4位 川村 宗(桐蔭学園中学)
- 5位 後藤 亮太(桐蔭学園高校)
- 6位 大島 浩(日南高校)

1位 石川 好之(富士通)
- 2位 石川 高広(B-force)
- 3位 堀橋 正樹(日立エ)
- 4位 草間 弘樹(日産車体)
- 5位 比留間 悟(シヨウナンキッズ)
- 6位 花田 要(厚木SSC)

「成年男子A」
1位 立 康仁(個人)
- 2位 作本 Team
- 3位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 4位 佐藤 義朗(慶應義塾大学)
- 5位 郭 政一(相模原市役所)
- 6位 野崎 秀明(東京経済大学)

第5回 SAK・SAC スキ技術選手権会
兼第11回 神奈川県学生スキー技術選手権会
日時/平成18年1月21日(土)23日(日)
場所/長野県高山高原スキー場
男子大回戦

- 1位 進藤 幸恵(SAC)
- 2位 原 織(SAK)
- 3位 武井 智栄(SAK)
- 4位 吉野 紗衣(SAC)
- 5位 本田万里子(SAC)
- 6位 手塚 雅世(SAC)

「女子総合」
1位 進藤 幸恵(SAC)
- 2位 原 織(SAK)
- 3位 武井 智栄(SAK)
- 4位 吉野 紗衣(SAC)
- 5位 本田万里子(SAC)
- 6位 手塚 雅世(SAC)

「男子総合」
1位 石井 拓也(SAK)
- 2位 武田 良二(SAC)
- 3位 中村 浩章(SAK)
- 4位 鷲井 和也(SAK)
- 5位 鷲井 靖之(SAC)
- 6位 女子総合

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「男子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「男子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

第4回 神奈川県マスタースタース選手権大会(スノーボード)
日時/平成18年1月27日(金)29日(日)
場所/長野県岩岳スキー場
男子大回戦

- 1位 野村 純二(個人)
- 2位 丸山 靖(個人)
- 3位 田中 拓介(個人)
- 4位 和田 佳翁(個人)
- 5位 渡辺 孝(個人)
- 6位 石井 英明(個人)

1位 水口 達史(専修大学)
- 2位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 3位 作本 Team
- 4位 小島 久典(REDORIB)
- 5位 森 健(ELOSO)
- 6位 黒羽秀之介(法政大学)

「少年男子」
1位 鈴木 柊(桐蔭学園中学)
- 2位 長坂 有紀(桐蔭学園)
- 3位 秋山真喜子(慶應湘南陵大高校)
- 4位 石山友里香(慶應湘南陵大高校)
- 5位 伊東咲央(桐蔭学園中学)
- 6位 戸塚真里奈(桐蔭学園中学)

第23回 チャレンジカップ 第2回 総合大会
日時/平成18年1月29日(金)29日(日)
場所/長野県岩岳スキー場
女子大回戦

- 1位 市川 高広(B-force)
- 2位 堀橋 正樹(日立エ)
- 3位 草間 弘樹(日産車体)
- 4位 比留間 悟(シヨウナンキッズ)
- 5位 石塚 志乃(ビッグクラウト)
- 6位 田中 未起(清心女子高校)

「成年男子A」
1位 立 康仁(個人)
- 2位 作本 Team
- 3位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 4位 佐藤 義朗(慶應義塾大学)
- 5位 郭 政一(相模原市役所)
- 6位 野崎 秀明(東京経済大学)

「女子総合」
1位 進藤 幸恵(SAC)
- 2位 原 織(SAK)
- 3位 武井 智栄(SAK)
- 4位 吉野 紗衣(SAC)
- 5位 本田万里子(SAC)
- 6位 手塚 雅世(SAC)

「男子総合」
1位 石井 拓也(SAK)
- 2位 武田 良二(SAC)
- 3位 中村 浩章(SAK)
- 4位 鷲井 和也(SAK)
- 5位 鷲井 靖之(SAC)
- 6位 女子総合

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「男子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

第57回 神奈川県総合体育大会(スノーボード)
日時/平成18年2月25日(土)26日(日)
場所/長野県白馬五竜スキー場
男子大回戦

- 1位 野村 純二(個人)
- 2位 丸山 靖(個人)
- 3位 田中 拓介(個人)
- 4位 和田 佳翁(個人)
- 5位 渡辺 孝(個人)
- 6位 石井 英明(個人)

1位 水口 達史(専修大学)
- 2位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 3位 作本 Team
- 4位 小島 久典(REDORIB)
- 5位 森 健(ELOSO)
- 6位 黒羽秀之介(法政大学)

「少年男子」
1位 鈴木 柊(桐蔭学園中学)
- 2位 長坂 有紀(桐蔭学園)
- 3位 秋山真喜子(慶應湘南陵大高校)
- 4位 石山友里香(慶應湘南陵大高校)
- 5位 伊東咲央(桐蔭学園中学)
- 6位 戸塚真里奈(桐蔭学園中学)

第23回 チャレンジカップ 第2回 総合大会
日時/平成18年1月29日(金)29日(日)
場所/長野県岩岳スキー場
女子大回戦

- 1位 市川 高広(B-force)
- 2位 堀橋 正樹(日立エ)
- 3位 草間 弘樹(日産車体)
- 4位 比留間 悟(シヨウナンキッズ)
- 5位 石塚 志乃(ビッグクラウト)
- 6位 田中 未起(清心女子高校)

「成年男子A」
1位 立 康仁(個人)
- 2位 作本 Team
- 3位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 4位 佐藤 義朗(慶應義塾大学)
- 5位 郭 政一(相模原市役所)
- 6位 野崎 秀明(東京経済大学)

「女子総合」
1位 進藤 幸恵(SAC)
- 2位 原 織(SAK)
- 3位 武井 智栄(SAK)
- 4位 吉野 紗衣(SAC)
- 5位 本田万里子(SAC)
- 6位 手塚 雅世(SAC)

「男子総合」
1位 石井 拓也(SAK)
- 2位 武田 良二(SAC)
- 3位 中村 浩章(SAK)
- 4位 鷲井 和也(SAK)
- 5位 鷲井 靖之(SAC)
- 6位 女子総合

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「男子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

第57回 神奈川県総合体育大会(スノーボード)
日時/平成18年2月25日(土)26日(日)
場所/長野県白馬五竜スキー場
男子大回戦

- 1位 野村 純二(個人)
- 2位 丸山 靖(個人)
- 3位 田中 拓介(個人)
- 4位 和田 佳翁(個人)
- 5位 渡辺 孝(個人)
- 6位 石井 英明(個人)

1位 水口 達史(専修大学)
- 2位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 3位 作本 Team
- 4位 小島 久典(REDORIB)
- 5位 森 健(ELOSO)
- 6位 黒羽秀之介(法政大学)

「少年男子」
1位 鈴木 柊(桐蔭学園中学)
- 2位 長坂 有紀(桐蔭学園)
- 3位 秋山真喜子(慶應湘南陵大高校)
- 4位 石山友里香(慶應湘南陵大高校)
- 5位 伊東咲央(桐蔭学園中学)
- 6位 戸塚真里奈(桐蔭学園中学)

第23回 チャレンジカップ 第2回 総合大会
日時/平成18年1月29日(金)29日(日)
場所/長野県岩岳スキー場
女子大回戦

- 1位 市川 高広(B-force)
- 2位 堀橋 正樹(日立エ)
- 3位 草間 弘樹(日産車体)
- 4位 比留間 悟(シヨウナンキッズ)
- 5位 石塚 志乃(ビッグクラウト)
- 6位 田中 未起(清心女子高校)

「成年男子A」
1位 立 康仁(個人)
- 2位 作本 Team
- 3位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 4位 佐藤 義朗(慶應義塾大学)
- 5位 郭 政一(相模原市役所)
- 6位 野崎 秀明(東京経済大学)

「女子総合」
1位 進藤 幸恵(SAC)
- 2位 原 織(SAK)
- 3位 武井 智栄(SAK)
- 4位 吉野 紗衣(SAC)
- 5位 本田万里子(SAC)
- 6位 手塚 雅世(SAC)

「男子総合」
1位 石井 拓也(SAK)
- 2位 武田 良二(SAC)
- 3位 中村 浩章(SAK)
- 4位 鷲井 和也(SAK)
- 5位 鷲井 靖之(SAC)
- 6位 女子総合

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「男子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

第57回 神奈川県総合体育大会(スノーボード)
日時/平成18年2月25日(土)26日(日)
場所/長野県白馬五竜スキー場
男子大回戦

- 1位 野村 純二(個人)
- 2位 丸山 靖(個人)
- 3位 田中 拓介(個人)
- 4位 和田 佳翁(個人)
- 5位 渡辺 孝(個人)
- 6位 石井 英明(個人)

1位 水口 達史(専修大学)
- 2位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 3位 作本 Team
- 4位 小島 久典(REDORIB)
- 5位 森 健(ELOSO)
- 6位 黒羽秀之介(法政大学)

「少年男子」
1位 鈴木 柊(桐蔭学園中学)
- 2位 長坂 有紀(桐蔭学園)
- 3位 秋山真喜子(慶應湘南陵大高校)
- 4位 石山友里香(慶應湘南陵大高校)
- 5位 伊東咲央(桐蔭学園中学)
- 6位 戸塚真里奈(桐蔭学園中学)

第23回 チャレンジカップ 第2回 総合大会
日時/平成18年1月29日(金)29日(日)
場所/長野県岩岳スキー場
女子大回戦

- 1位 市川 高広(B-force)
- 2位 堀橋 正樹(日立エ)
- 3位 草間 弘樹(日産車体)
- 4位 比留間 悟(シヨウナンキッズ)
- 5位 石塚 志乃(ビッグクラウト)
- 6位 田中 未起(清心女子高校)

「成年男子A」
1位 立 康仁(個人)
- 2位 作本 Team
- 3位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 4位 佐藤 義朗(慶應義塾大学)
- 5位 郭 政一(相模原市役所)
- 6位 野崎 秀明(東京経済大学)

「女子総合」
1位 進藤 幸恵(SAC)
- 2位 原 織(SAK)
- 3位 武井 智栄(SAK)
- 4位 吉野 紗衣(SAC)
- 5位 本田万里子(SAC)
- 6位 手塚 雅世(SAC)

「男子総合」
1位 石井 拓也(SAK)
- 2位 武田 良二(SAC)
- 3位 中村 浩章(SAK)
- 4位 鷲井 和也(SAK)
- 5位 鷲井 靖之(SAC)
- 6位 女子総合

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「男子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

第57回 神奈川県総合体育大会(スノーボード)
日時/平成18年2月25日(土)26日(日)
場所/長野県白馬五竜スキー場
男子大回戦

- 1位 野村 純二(個人)
- 2位 丸山 靖(個人)
- 3位 田中 拓介(個人)
- 4位 和田 佳翁(個人)
- 5位 渡辺 孝(個人)
- 6位 石井 英明(個人)

1位 水口 達史(専修大学)
- 2位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 3位 作本 Team
- 4位 小島 久典(REDORIB)
- 5位 森 健(ELOSO)
- 6位 黒羽秀之介(法政大学)

「少年男子」
1位 鈴木 柊(桐蔭学園中学)
- 2位 長坂 有紀(桐蔭学園)
- 3位 秋山真喜子(慶應湘南陵大高校)
- 4位 石山友里香(慶應湘南陵大高校)
- 5位 伊東咲央(桐蔭学園中学)
- 6位 戸塚真里奈(桐蔭学園中学)

第23回 チャレンジカップ 第2回 総合大会
日時/平成18年1月29日(金)29日(日)
場所/長野県岩岳スキー場
女子大回戦

- 1位 市川 高広(B-force)
- 2位 堀橋 正樹(日立エ)
- 3位 草間 弘樹(日産車体)
- 4位 比留間 悟(シヨウナンキッズ)
- 5位 石塚 志乃(ビッグクラウト)
- 6位 田中 未起(清心女子高校)

「成年男子A」
1位 立 康仁(個人)
- 2位 作本 Team
- 3位 藤原 哲哉(アスベンス)
- 4位 佐藤 義朗(慶應義塾大学)
- 5位 郭 政一(相模原市役所)
- 6位 野崎 秀明(東京経済大学)

「女子総合」
1位 進藤 幸恵(SAC)
- 2位 原 織(SAK)
- 3位 武井 智栄(SAK)
- 4位 吉野 紗衣(SAC)
- 5位 本田万里子(SAC)
- 6位 手塚 雅世(SAC)

「男子総合」
1位 石井 拓也(SAK)
- 2位 武田 良二(SAC)
- 3位 中村 浩章(SAK)
- 4位 鷲井 和也(SAK)
- 5位 鷲井 靖之(SAC)
- 6位 女子総合

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「男子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

「女子一般」
1位 石井 拓也(関東学院大学)
- 2位 武田 良二(REDORIB)
- 3位 中村 浩章(REDORIB)
- 4位 鷲井 和也(REDORIB)
- 5位 吉田かすみ(川崎スキークラブ)
- 6位 古田久美子(REDORIB)

第57回 神奈川県総合体育大会(スノーボード)
日時/平成18年2月25日(土)26日(日)
場所/長野県白馬五竜スキー場
男子大回戦

- 1位 野村 純二(個人)
- 2位 丸山 靖(個人)
- 3位 田中 拓介(個人)
- 4位 和田 佳翁(個人)
- 5位 渡辺 孝(個人)
- 6位 石井 英明(個人)

- 4位 高藤 和雄(城山町)
- 5位 笠谷 慶一(川崎市)
- 6位 中島 克人(鎌倉市)
- 「男子成年C」
- 1位 保坂 敏成(相模原市)
- 2位 横濱市
- 3位 丸田 陸(秦野市)
- 4位 山崎 孝弘(相模原市)
- 5位 本間 昭治(小田原市)
- 6位 高藤 孝(小田原市)
- 「男子成年B」
- 1位 原田 健司(川崎市)
- 2位 山上 誠英(中井町)
- 3位 佐藤 弘(小田原市)
- 4位 坂本 哲也(相模原市)
- 5位 土屋 祐一(相模原市)
- 6位 加藤雄一(横浜市)
- 「男子成年A」
- 1位 門倉 敏之(相模原市)
- 2位 関 伸泰(城山町)
- 3位 増田 知泰(平塚市)
- 4位 井上 伸裕(厚木市)
- 5位 柳瀬 貴之(横浜市)
- 6位 高田 英明(海老名市)
- クロスカントリー
- 「女子成年」
- 1位 所 貴紀子(平塚市)
- 2位 野田 啓子(相模原市)
- 3位 池田 千夏(川崎市)
- 4位 中尾 理恵(横浜市)
- 「成年D」
- 1位 北川 松男(座間市)
- 2位 竹内 新一(相模原市)
- 3位 和多 茂(平塚市)
- 4位 高橋 文三(川崎市)
- 5位 堀 光平(茅ヶ崎市)
- 6位 草野 純也(横浜市)
- 「成年C」
- 1位 坂下 誠光(相模原市)
- 2位 藤田 修士(横浜市)
- 3位 永井 中郎(横浜市)
- 4位 柏木 正彦(鎌倉市)
- 5位 桐生 武大(和)
- 6位 吉川 重樹(座間市)
- 「成年B」
- 1位 4OKMワシカル
- 2位 藤田 修士(横浜市)
- 3位 鈴木 孝一(厚木市)
- 4位 石原 啓(横浜市)
- 5位 野本 和義(相模原市)
- 6位 成井 啓明(相模原市)
- 「成年A」
- 1位 渡辺 岩士(相模原市)
- 2位 秋野 隼介(相模湖町)
- 3位 木幡 好光(鎌倉市)
- 4位 藤田 和宏(座間市)
- 5位 永井 慎吾(津久井町)
- 6位 クロスカントリー
- 「男子」
- 1位 相模原市
- 2位 鎌倉市
- 3位 厚木市
- 4位 座間市
- 5位 鎌倉市
- 6位 鎌倉市

- 団体総合成績
- 1位 相模原市
- 2位 横濱市
- 3位 鎌倉市
- 4位 厚木市
- 5位 座間市
- 6位 鎌倉市
- 「男子成年」
- 1位 阿部 洋平(慶應義塾高校)
- 2位 竹内 亮介(湘南雲台)
- 3位 都築 政一(相模原市役所)
- 4位 柏木 崇(湘南雲台)
- 5位 葛岡 浩平(アール)
- 6位 坂本 航一(シヨウナンキッズ)
- 「男子成年B」
- 1位 小笠原晴佳(横浜スノーメイ)
- 2位 松岡 瑞季(個人)
- 3位 村山 美海(横浜スノーメイ)
- 「男子成年C」
- 1位 堀 桃子(個人)
- 2位 川井 莉愛(小田原スポーツマン)
- 3位 荒井 美蘭(ハテア)
- 4位 青柳 優那(横浜スノーメイ)
- 5位 藤田 捺稀(レインボースノー)
- 6位 藤田 捺稀(レインボースノー)
- 「女子成年」
- 1位 小笠原晴佳(横浜スノーメイ)
- 2位 松岡 瑞季(個人)
- 3位 村山 美海(横浜スノーメイ)
- 「女子成年B」
- 1位 堀 桃子(個人)
- 2位 川井 莉愛(小田原スポーツマン)
- 3位 荒井 美蘭(ハテア)
- 4位 青柳 優那(横浜スノーメイ)
- 5位 藤田 捺稀(レインボースノー)
- 6位 藤田 捺稀(レインボースノー)
- 「女子成年C」
- 1位 堀 桃子(個人)
- 2位 川井 莉愛(小田原スポーツマン)
- 3位 荒井 美蘭(ハテア)
- 4位 青柳 優那(横浜スノーメイ)
- 5位 藤田 捺稀(レインボースノー)
- 6位 藤田 捺稀(レインボースノー)

- 第64回神奈川県スキー選手権大会(技術系)
- 兼「神奈川県ジュニアスキー大会」
- 日時/平成18年3月4日(土)5日(日)
- 場所/新潟県上越国際スキー場
- 回別競技
- 「小学生低学年」
- 1位 小笠原晴佳(横浜スノーメイ)
- 2位 松岡 瑞季(個人)
- 3位 村山 美海(横浜スノーメイ)
- 「小学生高学年」
- 1位 堀 桃子(個人)
- 2位 川井 莉愛(小田原スポーツマン)
- 3位 荒井 美蘭(ハテア)
- 4位 青柳 優那(横浜スノーメイ)
- 5位 藤田 捺稀(レインボースノー)
- 6位 藤田 捺稀(レインボースノー)
- 「女子小学生」
- 1位 松坂 麻央(シヨウナンキッズ)
- 2位 川本 愛理(相模女子大中学)
- 3位 平賀鶴菜美(相模女子大中学)
- 4位 岩田 翠(ハテア)
- 5位 須藤 裕菜(横浜市教職員)
- 6位 須藤 裕菜(横浜市教職員)
- 「少年」
- 1位 三浦 奈々(相模女子大高校)
- 2位 田所 冬美(弥生西高校)
- 3位 佐藤 唯(横浜英和女学院)
- 4位 坂本 翔子(相模田名高校)
- 5位 本間悠希子(桐光学園高校)
- 6位 本間悠希子(桐光学園高校)
- 「女子成年」
- 1位 菊地 美保(湘南雲台)
- 2位 武内里枝子(日立ソフトスキー部)
- 3位 杉本 博美(アール)
- 4位 相澤 博美(横浜スキークラブ)
- 5位 今野 裕子(横浜市教職員)
- 6位 今野 裕子(横浜市教職員)
- 「女子成年B」
- 1位 東原麻衣乃助(シヨウナンキッズ)
- 2位 松坂 優磨(シヨウナンキッズ)
- 3位 藤木 蓮彦(T.E.A.M.D.L.W.H)
- 4位 岡田慎之介(シヨウナンキッズ)
- 5位 佐藤 雄亮(ハテア)
- 6位 岩崎 聖南(秦野S.C)
- 「男子中学生」
- 1位 長岡 祐太(秦野S.C)
- 2位 金子進太郎(関東学院中学)
- 3位 三浦 地平(S.C.C.めぐり)
- 4位 上原 真(ハテア)
- 5位 堀 裕太郎(個人)
- 6位 堀 裕太郎(個人)
- 「少年男子」
- 1位 福島 翼(横浜商大高校)
- 2位 白崎 琢也(慶應義塾高校)

- 3位 山田 康裕(慶應義塾高校)
- 4位 坂本 彩人(光明相模原高校)
- 5位 豊田 将典(慶應義塾高校)
- 6位 飯塚 裕貴(慶應義塾高校)
- 「男子成年」
- 1位 阿部 洋平(慶應義塾高校)
- 2位 竹内 亮介(湘南雲台)
- 3位 都築 政一(相模原市役所)
- 4位 柏木 崇(湘南雲台)
- 5位 葛岡 浩平(アール)
- 6位 坂本 航一(シヨウナンキッズ)
- 「男子成年B」
- 1位 小島 智之(キヤノン)
- 2位 山崎 公文(シヨウナンキッズ)
- 3位 青柳 孝行(横浜スノーメイ)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 佐藤 正峰(日立T)
- 6位 佐藤 弘人(アール)
- 「男子成年C」
- 1位 山崎 孝弘(S.C.C.A)
- 2位 西 秀昭(B.T.O.C.E)
- 3位 中村 英樹(N.E.C.玉川)
- 4位 荒井 晃一(電機工口ボックル)
- 5位 藤川 康宏(リベンス)
- 6位 三浦 智(S.C.C.めぐり)
- 大回別競技
- 「小学生低学年女子」
- 1位 松岡 瑞季(個人)
- 2位 小笠原晴佳(横浜スノーメイ)
- 3位 村山 美海(横浜スノーメイ)
- 4位 秋元 沙月(アール)
- 5位 須藤 裕菜(横浜市教職員)
- 6位 須藤 裕菜(横浜市教職員)
- 「小学生高学年女子」
- 1位 堀 桃子(個人)
- 2位 今野 明里(横浜市教職員)
- 3位 川本 莉愛(小田原スポーツマン)
- 4位 坂田 里蘭(アール)
- 5位 荒井 美蘭(アール)
- 6位 青柳 優那(横浜スノーメイ)
- 「中学生女子」
- 1位 平賀鶴菜美(相模女子大中学)
- 2位 松坂 麻央(シヨウナンキッズ)
- 3位 川本 愛理(相模女子大中学)
- 4位 須藤 裕菜(横浜市教職員)
- 5位 岩田 翠(ハテア)
- 6位 青柳 優那(横浜スノーメイ)
- 「女子成年」
- 1位 田中 未起(清心女子高校)
- 2位 深沢 器(Team)
- 3位 菊地 美保(湘南雲台)
- 4位 武内里枝子(日立ソフトスキー部)
- 5位 佐藤 由美(東工連)
- 6位 佐藤 由美(東工連)
- 「女子成年B」
- 1位 藤木 蓮彦(アール)
- 2位 相澤 博美(横浜スキークラブ)
- 3位 杉本 博美(アール)
- 4位 水野みどり(湘南ノースホッ)
- 5位 今野 裕子(横浜市教職員)
- 6位 高藤麻衣子(日産車体)
- 「少年」
- 1位 三浦 奈々(相模女子大高校)
- 2位 佐藤 唯(横浜英和女学院)
- 3位 田所 冬美(弥生西高校)
- 4位 坂本 翔子(相模田名高校)
- 5位 本間悠希子(桐光学園高校)
- 6位 本間悠希子(桐光学園高校)
- 「小学生低学年男子」
- 1位 福島 翼(横浜商大高校)
- 2位 白崎 琢也(慶應義塾高校)

- 1位 神 佑助(ツイエアント)
- 2位 野村 琢磨(ハテア)
- 3位 原 幸平(小田原スポーツマン)
- 4位 飯塚 裕貴(慶應義塾高校)
- 「小学生高学年男子」
- 1位 岡田慎之介(シヨウナンキッズ)
- 2位 平野 英久(シヨウナンキッズ)
- 3位 東原麻衣乃助(シヨウナンキッズ)
- 4位 松田 圭祐(シヨウナンキッズ)
- 5位 成田 佳祐(ハテア)
- 6位 小笠原幸也(横浜スノーメイ)
- 「中学生男子」
- 1位 長岡 祐太(秦野S.C)
- 2位 菅野 元輝(桐蔭学園中学)
- 3位 三浦 地平(S.C.C.めぐり)
- 4位 上原 真(個人)
- 5位 渡辺 根(シヨウナンキッズ)
- 6位 堀 裕太郎(個人)
- 「少年男子」
- 1位 藤原 翔(慶應義塾高校)
- 2位 福島 翼(横浜商大高校)
- 3位 坂本 彩人(光明相模原高校)
- 4位 白崎 琢也(慶應義塾高校)
- 5位 三鬼純太郎(慶應義塾高校)
- 6位 市山 研(個人)
- 「男子成年」
- 1位 吉澤 武晴(IBMスキー部)
- 2位 相模原市役所
- 3位 相模 崇(湘南雲台)
- 4位 竹内 亮介(湘南雲台)
- 5位 阿部 洋平(慶應義塾高校)
- 6位 市山 研(個人)
- 「男子成年A」
- 1位 吉澤 武晴(IBMスキー部)
- 2位 相模原市役所
- 3位 相模 崇(湘南雲台)
- 4位 竹内 亮介(湘南雲台)
- 5位 阿部 洋平(慶應義塾高校)
- 6位 市山 研(個人)
- 「男子成年B」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「男子成年C」
- 1位 花田 要(厚木S.C)
- 2位 北野 敦正(IBMスキー部)
- 3位 西 秀昭(B.T.O.C.E)
- 4位 谷口 雄大(アール)
- 5位 山崎 孝弘(S.C.C.A)
- 6位 堀内 泰雄(横浜スキークラブ)
- 「女子成年」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年B」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年C」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)

- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年B」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年C」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)

- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年B」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年C」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)

- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年B」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年C」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)

- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年B」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)
- 「女子成年C」
- 1位 市川 高広(B.T.O.C.E)
- 2位 草間 弘樹(日産車体)
- 3位 小島 智之(キヤノン)
- 4位 青野 浩朗(東芝)
- 5位 原田 健司(アール)
- 6位 堀 正峰(日立T)

第4回チャレンジカップ第3戦
東日本キヤタリー三連大会
第3回トワイカップ
スキーフェスティバル
の公式記録は次号に掲載します。

指導員会だより

会長 水島 秀夫

神奈川県 スキー指導員会の展望

〈新ゾーンへの開拓について〉

会長に就任してから2期目3年が経過しました。この間スキー界を取り巻く環境は必ずしも順風満帆とは言えず、少子高齢化などと相まってスキー人口は減少の傾向にあります。就任に際し指導員会の目指す「グラウンドデザイン」の策定と時代の「風」を素早く読みとる事と。また、神奈川県スキー連盟、各協会等の関連団体との協調と融和を図りスキー地盤の底上げを掲げました。

その試みとしてスノーヴァ新横浜（S.V.）との行事提携があります。横浜市内の屋内スキー場で昨年の夏休みから、横浜市役所の後援事業として、①「真夏に雪とふれあふジュニアスキー教室」を開催したところ、熱烈的な反響があり、以降②毎月土曜日を対象にしたスキー教室、③冬休みスキー体験教室、④日本自動車連盟神奈川支部との提携によるスキー教室、⑤春休みレベルアップ教室、にボランティアスキー指導員を派遣しています。

実績は半年弱で参加人員は延べ520名を超し、底辺拡大に寄与しており

ます。レッスンは限られたスペースの中で、ジュニアを「安全に楽しく、早く上手にする」指導法を確立し、保護者から絶賛されています。

毎回参加者の上達度合いを知らせる「受講認定証」を発行し、次回のレッスンに期待を持たせる方策の結果、リピーターにつながっています。又「地域型総合スポーツクラブ」の推進を図る横浜市の施策とも連動し高く評価されています。今後は団塊の世代の大量定年退職のシニア世代を視野に入れ、県連、協会とも話し合い行事の分担等、効率の良い運営をしたいと考えています。

● 行事レポート

- ① ティーチングセミナー 初級②回
- ② ティーチングセミナー 中級②回
- ③ スキーの性能を生かすための「コンディショニング（体力）トレーニング講習会③回
- ④ 第71回親睦ゴルフコンペ秋季大会⑩月
- ⑤ 雪上トレーニング講習会⑫月
- ⑥ 草津スキーと温泉を楽しむ会①月
- ⑦ 片品スキーと咲花温泉ツアー②月
- ⑧ 第6回車山チャレンジカップスキー大会②月
- ⑨ エンジョイスキーヨ小海③月
- ⑩ 第25回オール神奈川スキーヤーズ大会③月
- ⑪ 第22回指導員会フェスティバル④月

(3ページの続き)

生活指導も行ったので、親が付いて来られない人も参加できたわけです。15人の参加者に対して10人の指導員が宿に泊まり、添乗員は6人、スキー等の面倒は15人が当たりました。結果として聴覚障害4人、チエアスキー11人を含め、合計38人の障害を持つ方の参加がありました。ただ、全員がスカイパークホテルに入りきれず、チエアスキー以外は本部と離れてしまったのがちよつと残念でした。ともかく、いろいろな障害のある方が一緒に参加するのは難しく、10回以上の委員会、小委員会を開催して検討を行いました。

また、交通費等を低減するため研修会・クリニック参加者にボランティアとして指導員をお願いしています。指導員の研修としてジュニアやハンディキャップの行事の講師を受け持つということも検討しているのではないかと思います。

1月の岩岳大会は五竜行事との間隔をあけて参加しやすくするために2月にして、逆に3月の車山行事を1週間前倒しにしたいと考えています。

下肢に障害を持つ人たちの多くは、SAJの級別テストや指導員資格の取得を望んでいます。神奈川県連の責任で準指導員検定までは出来ずし、1級、2級でも大きな励みになっていきます。また、大会も全国的に少ないので、県の大会でポイントを得られるように

してきたいものです。神奈川の取り組みでチエアスキーをやりたいという方が増えています。

昨年末、チエアスキーの研修会に参加し、実際にチエアスキーに乗ってみました。従来のスキーとは違うチエアスキーの面白さを体感でき、日常的に車椅子を使っている方にとっての喜びが分かる様な気がしました。

知的障害を持つ方からの御礼の葉書や親御さんから感謝の電話やメールも頂いています。

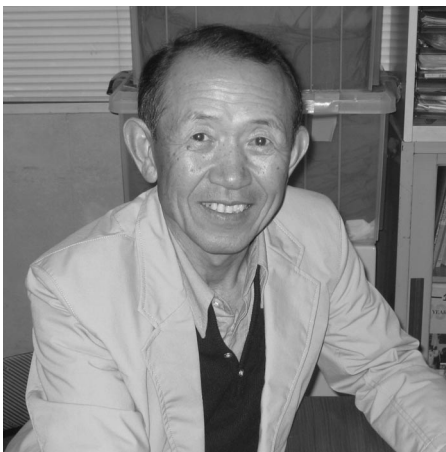
視覚障害の人がクラブに入りたいたいという相談を受けて、受入先を探しているところです。障害者も範囲が広くて対応が追いつかないというところですが、公益法人としては今後受け入れていかなければいけないと思います。

知的障害を持つ方には、健常者と共にスノースポーツを楽しんでもらうことが中心で、チエアなど肢体障害者と聴覚障害者には門戸を開いているので参加してもらいたいというのが基本的なスタンスです。



SAKトップインタビュー

野地副会長にお話を伺いました



◇最近感じること

冬の週末、横浜駅で降りて県連事務所に向かう時感じることは、バブルが終わるとともに、天理ビルの前からスキーバスの行列が消えてしまったことですね。冬の風物詩の一つが消えてしまったのは寂しい限りです。

最近雪国でも、子供のスキー離れが目立っているらしいですね。車山や五竜でも、スキーに夢中になる子は親がスキー関連の仕事をしている家庭がほとんどで、サッカーや野球など他のスポーツを好む子供が多いらしいですね。

スキーが、もう一度冬のスポーツの主役として脚光をあびることができるとかどうか、私たち指導者の行動にかかっていますね。

◇基盤の問題を大切に

スポーツ団体にとって、基盤の状態がどうなっているかは、重要な意味を持っています。登録会員数は、8000人を超えていた時代もありましたが、10年前で7500人、今年は6200人台へと減少傾向にあります。有資格者の減少が、準指導員合格者数を上回っていた時期もありましたが、2002年を境に回復傾向にあり、今年度は2500人程度になる見込みです。

かつて3000人を超えていた準指導員受検者数も昨年度は150人台、今年度130人台と大きく落ち込んでしまっています。

特に注目しないといけないのは、バツジテストの合格者数です。

1・2級の合格者は10年前では660人もいたんですが、昨年度は1級130人、2級161人と激減しています。この部分はとくに重要で、来年度から各協会・クラブの協力を得てキャンペーンをはりたいと考えています。

スキー界を支える基盤の部分が崩れ始めているので、早い時期に危機意識を持って、手を打つことが大切だと思っています。県連もクラブ・協会との連携を強化しながら、登録会員の声に

も耳を傾け、時代の流れを感じ運営していかなければならないと思います。

◇打開策を模索

最近、ジュニアのスキー教室が徐々に盛んになっています。県連でも各学校との接触がない地区を中心に、今シーズンから「雪とのふれあい教室」を実施したところ、かなりの反応がありました。これらのジュニアスキーが定着すれば、起爆剤になると考えています。ただし、入り口のところでも子ども達に、スキーは「つまらない」と思われてしまうと、スキー界は元氣を取り戻せません。指導者がスキーを通して楽しく遊ばせる方法を体得し、日帰りが泊まりのツアーにつながる様な努力が大切です。



一方、県下のシニア層は、ジュニアの人口を上回っており、いずれ団塊の世代が地域に帰ってきますので、これも魅力ある市場になりますね。人生経験豊富な人々に「自然に癒される魅力や、スキーの爽快さ」を伝えられるような自己革新が必要です。雪国の歴史や生活の知恵、温泉・健康志向など体験旅行的な企画との組み合わせをメニューに加えていく必要もあるでしょう。

ファミリースキーはお金がかかります。いらなくなった指導者の用具やウェアを無償で提供するなどの心遣いがあれば、愛好者を増やすことができるとは思いません。

◇鮭のチャンチャン焼き
実は、私がスキーを始めたのは、カミさんにスキーを教わったのがきっかけです。ですから今でも年に何度かカミさんとスキーに行きますよ。

春スキーでは、五竜の47スキー場で、山菜を取って料理を作って食べたり、コーヒーを入れて楽しんだりしています。そういうえば、昨年、五竜でスキーのあと「鮭のチャンチャン焼き」を作ろうとして雪の中に鮭の切り身を埋めておいたのですが、いざ焼こうとしてみると鮭の切り身はすっかりカラスの餌食になってしまって、野菜だけのチャンチャン焼きを食べるはめになってしまいました。五竜のカラスは賢いですね。